

Nゲージ向けペーパーキット カラー硬質紙をレーザー加工 塗装不要

複線形給炭槽

旭川機関区
タイプ

複線形給炭槽 旭川機関区
タイプ



組立例

サイズ：約幅86×奥行122×高さ86mm



組立に必要なもの
・ピンセット
・黄色ペン
・接着剤
・カッター
・ノコギリ
・ヤスリ
・木工用ボンド
・爪楊枝

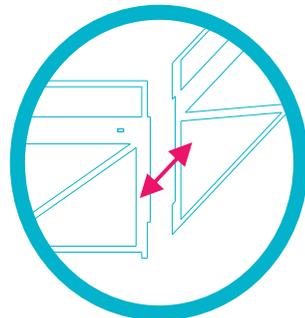
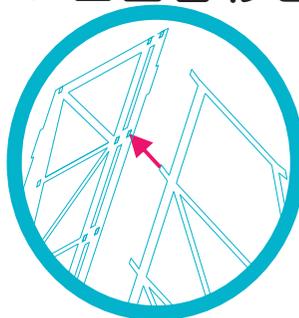


ご注意ください

・本キットは15歳以上の模型経験者向け商品です。
・目や口に入らないでください。
・付属品は必ず正確に組み立ててください。
・接着剤は必ず正確に塗布してください。
・木工用ボンドは必ず正確に塗布してください。
・ヤスリや爪楊枝は必ず正確に使用してください。
・本キットは必ず正確に組み立ててください。
・本キットは必ず正確に組み立ててください。

組立は差込み or 凹凸合わせ

基本的には、接合面に
布しは接着よく
塗るも精度よく
合わせます。
凹凸を合わせる
差込みを組立て



1012

1012
6800

Nゲージ



～ご用意ください～

- ・デザインナイフ
- ・クラフトボンド
(木工ボンドと爪楊枝)
- ・ピンセット
- ・カッターマット

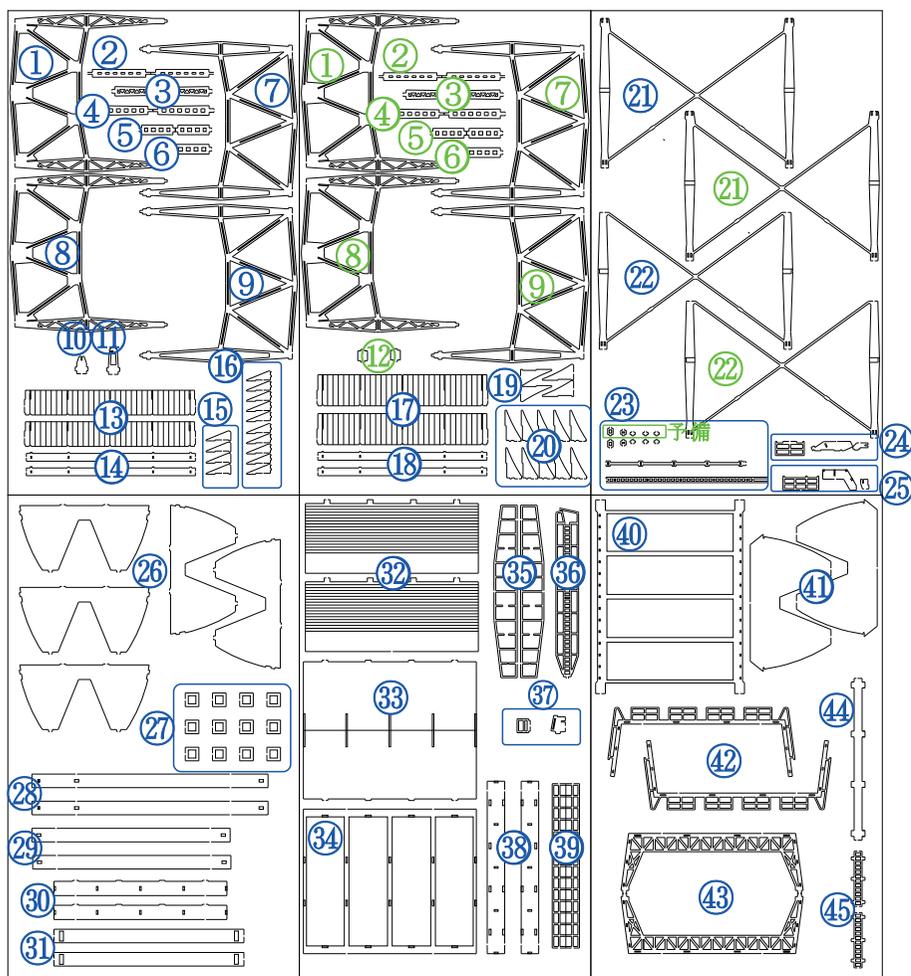


部品は、写真赤丸の様に、
数カ所ですらまっています。
光に透かしますと、分かり
易いです。

組立前に必ずお読みください

- ・部品はデザインナイフ等で丁寧に切り離してください。
- ・接着は(木工ボンドを爪楊枝で)接合面に載せる様に塗布します。
このとき、ボンドの水分で紙が柔らかくなり差込みづらくなるのを防ぐ為、
なるべく凹部分に塗布するようにします (**凸部分を避けて塗布**します)。
- ・接着した部品を剥がすのは困難です。説明書を参考に全体の流れを理解した上で
慎重に接着していくようにしましょう。

部品番号表



アドバンスペーパーキットについて

- ・カラー硬質紙をレーザーカットしており、加工時に切断面に焦げや煤が付着します。
- ・焦げ・煤が原因で指が汚れたり、焦げ臭い場合もありますが予めご了承ください。
- ・未切断や抜け残しがありましたらデザインナイフ等で取り除いてください。

組立の手順

当キットは、大きく3つの工程から構成されています。

1. 脚部の制作
2. 石炭槽の制作
3. 作業台の制作

各工程は独立しています。最後に合体させて完成となりますので、同時進行することでボンドの乾燥時間を有効活用する事もできます。



～脚部の制作～

右の写真をご覧ください。
部品①と⑧の間に、②③④⑤⑥と⑩⑪が挟まれています。

これを2組制作しますが、もう一つは⑩⑪の代わりに部品⑫を使用します。

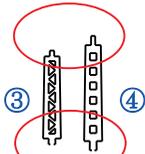
- 1、まず①に⑩⑪を差し込み接着します。

部品⑩の表裏に注意します。
凹が内側になるようにします。

⑩⑪を差し込んだのは反対側から②③④⑤⑥を差し込み接着します。

部品③④は向きがあります。

上側が細く

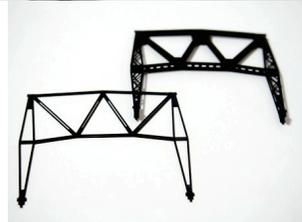
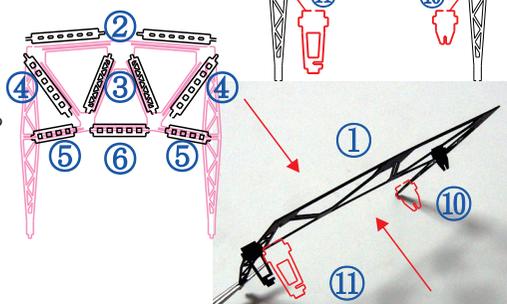
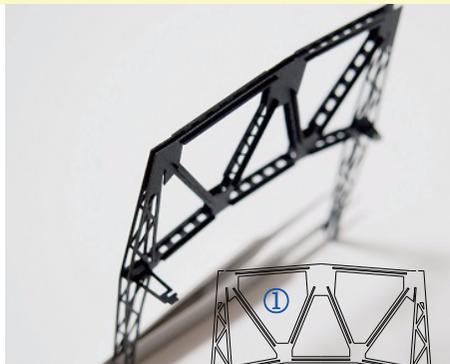


下側が太く

なるようにします。

部品番号表の①②③④⑤⑥⑧⑫を使用して同じものを制作します。

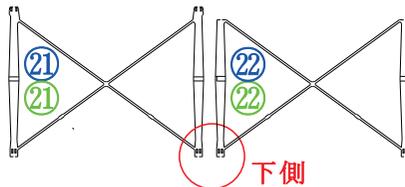
- 2、1で制作した部品に⑦⑨を①⑧に重ねるように差し込みます。
少量のボンドで軽く接着しておきます。



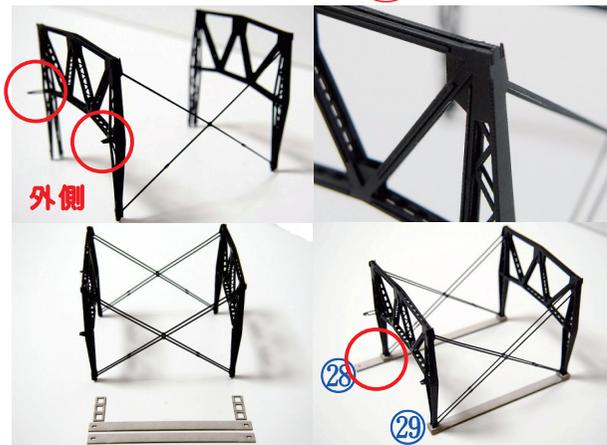
3. 2で制作した部品に⑳㉑を接着します。
部品は上下があります。

㉑は外側に、㉒は内側になります。

下側の凹凸から上方向に接着していくとスムーズです。



※ちょっとコツがいるので組立になりますので仮組しボンドを塗布する場所を検討することをお勧めします。



4. 土台を接着します。

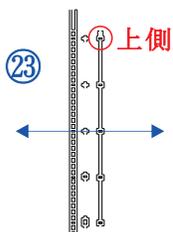
部品㉗を1脚につき3枚重ねます。
㉘㉙も2枚重ねます。

部品㉑側に㉘の長手方向を接着するようにします。右の写真でご確認下さい。

5. 踊り場を制作します。写真を参考に㉔㉕の床と柵を接着します。残りの部品は、㉑に㉔を、㉑に㉕を差込み接着します。



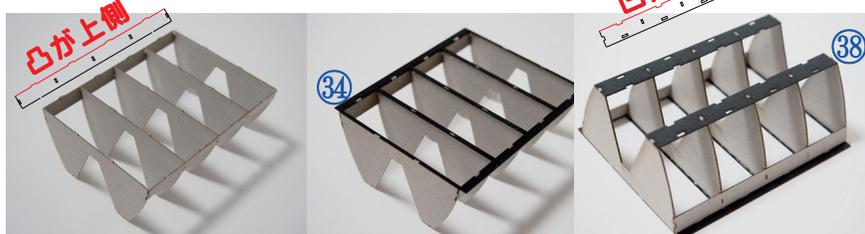
6. ハシゴを製作します。



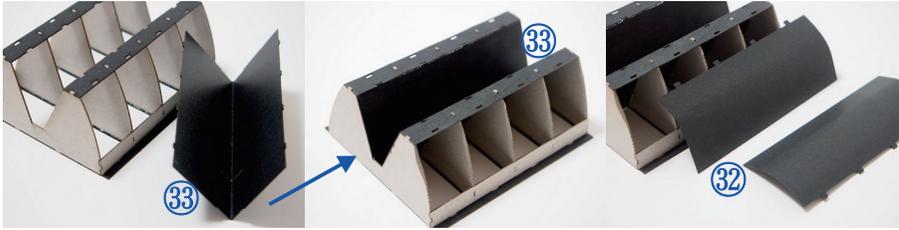
脚部の制作は以上になります。

～石炭槽の製作～

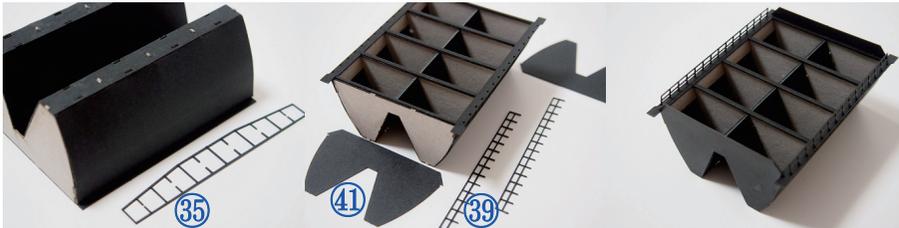
7. 部品㉑に㉖5枚を接着します。次に部品㉚と㉛を接着します。



8. 部品③③を中央で折り、差込み接着します。
 部品③②は曲げ癖をつけておきます。
 仮組をして確認してから、③③に凸を差込み接着します。



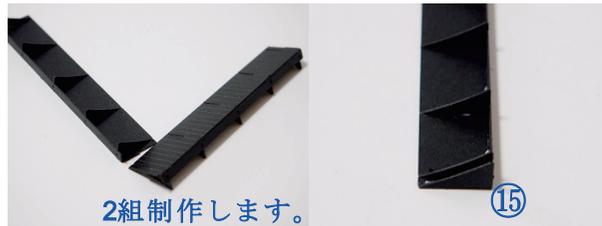
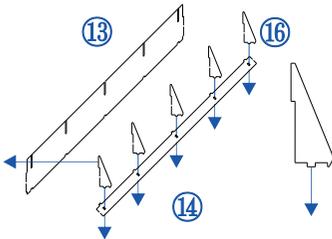
9. 部品③⑤を両サイドに接着します。
 部品④⑩を③④の上に重ねるように接着します。
 部品④⑪と柵③⑨を接着します。



10. 旭川機関区の特徴である凍結防止カバーを制作します。
 それぞれ**2組制作**していきます。

部品④⑭に④⑯を差し込み接着します。部品の向きに注意します。

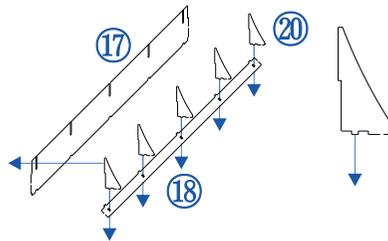
④⑬を接着してから両端に部品④⑮を接着します。



同様に部品④⑰に④⑳を差し込み接着します。

④⑰を接着します。

両端に④⑱を接着します。



11. 石炭槽に接着します。

12で制作した凍結防止カバーの
 大きい方は外側に、
 小さい方は内側に、
 それぞれ接着します。

槽は以上になります。



～作業台の製作～

- 1 2. 部品④③に、④④と④⑤を差込み接着します。
手摺④②を差込み接着します。
土台④③を2枚重ねて接着して作業台の制作完了となります。

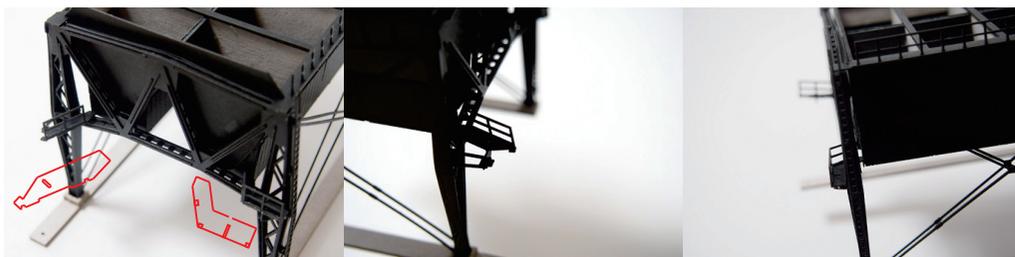


～合体させていきます～

- 1 3. 脚部と石炭槽を合体させます。

脚の肩と接する部分にボンドを塗布します。

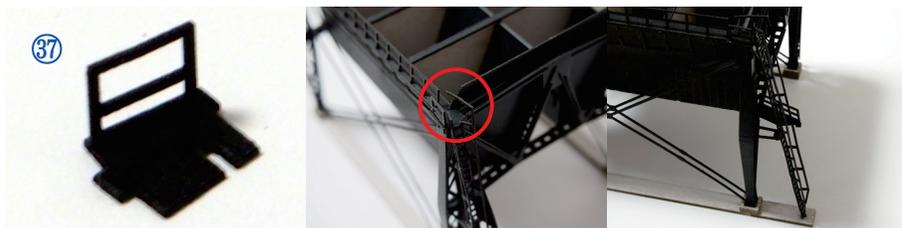
- 1 4. 工程5で制作した踊り場を接着します。



- 1 5. 階段を取り付けていきます。
部品④③を折り曲げます。



- 1 6. 部品④⑦を組み立てて写真赤丸部分に接着します。



階段を接着して完成です。